物流エンジニアリングで国内産業の持続的成長へ

～将来の高齢化・人手不足に対するソリューション～

近未来MH研究会のご案内

昨今の物流を取り囲む社会的な環境は、少子高齢化の進展とともに労働人口の減少が進んでいます。更にはインダストリアル4.0に代表されるIoTや、AIなどのイノベーションにどう向き合っていくのかが、大きな課題となっております。

厚生労働省の統計によると、少子高齢化の進展で労働力人口は2015年に比べ2020年には約80万人が不足すると言われています。とりわけ運輸業の労働人口は約10万人の減少が見込まれています。

そのような現状を踏まえ、日本MH協会では「近未来MH研究会」を立ち上げ活動を行っております。

今年度は多々ある課題の中で、現場での作業負荷が大きい作業として「バンニング・デバンニング作業」と「倉庫内ピッキング作業」に焦点を充てて研究をしてまいりました。

今回の研究成果の発表については、東京国際包装展（TOKYO PACK 2016）のセミナー会場においてプレゼンテーションを行います。

研究会メンバー（敬称略）

安藤　康行（J-SCIコンサルティング）
宮前　圭介（日産自動車（株））
中里　公一（（株）IHI）
伊地知真弘（日本パレットレンタル（株））
五十嵐　誠（日本パレットレンタル（株））
石渡　教雄（山九（株））
大澤　俊平（山九（株））
室賀　利一（（株）日通総合研究所）
小倉　壽之（（株）カナツー）
尾田　寛仁（物流システムマネジメント研究所）
山根　幹大（（一社）東京技術士会）
原田　啓二（先端ロジスティック研究所）
小野山達夫（オークラ輸送機（株））
大西　孝司（オークラ輸送機（株））
秋山　薫（花王（株））
根尾佳珠機（村田機械（株））

研究成果の発表（参加無料）

場　所：東6号館セミナー会場
日　時：10月4日（火）14:30～15:30
10月7日（金）14:30～15:30

※参加についてはWEBによる事前登録となっております。登録はこちら